

シラバス

科目名	ソーシャルワーク論Ⅲ		
担当教員			
配当年次	2年次	開講時期	1学期
単位区分	選択	単位区分補足	
授業形態	講義	単位数	2単位
準備事項			
備考			

【授業のねらい】

- ・人と環境の相互作用に関する理論とマイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。
- ・ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。
- ・ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。

【授業の展開計画】

1. 人と環境との相互作用に関する理論：システム理論
2. 人と環境との相互作用に関する理論：生態学理論
3. ソーシャルワークの過程：ケースの発見（インテーク）とエンゲージメント
4. ソーシャルワークの過程：アセスメントの意義，目的
5. ソーシャルワークの過程：アセスメントの方法，留意点
6. ソーシャルワークの過程：プランニングの意義，目的，方法，留意点
7. ソーシャルワークの過程：プランニングの効果と限界・支援方針等
8. ソーシャルワークの過程：支援の意義，目的，方法，留意点
9. ソーシャルワークの過程：モニタリングの意義，目的，方法，留意点
10. ソーシャルワークの過程：支援の終結と事後評価の意義，目的，方法，留意点・効果測定
11. ソーシャルワークの過程：アフターケアの目的，方法，留意点
12. ソーシャルワークの面接と援助関係
13. ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ：医学モデルと生活モデル
14. ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ：ストレングスモデルとエンパワメントアプローチ
15. ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ：心理社会的アプローチ等

【履修上の注意事項】

- ・事前に次回の講義内容に該当するテキスト部分を読んでおくこと。また，わからない用語については調べておくこと（120分）
- ・事後には講義内容を配布資料やテキストをもとに復習し，必要に応じて講義内にて提示される課題に取り組むこと（120分）

【評価方法】

試験 80%，課題レポート 20%により評価する。

【テキスト】

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『ソーシャルワークの理論と方法（共通）』中央法規出版（2020年12月刊行予定）

【参考文献】

- ・一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『ソーシャルワークの基盤と専門職』中央法規出版
- ・その他については講義内にて適宜紹介する。